



鉢木昔語

坤



明遠
1798
卷



神本音語卷之三

目錄

一 殿中巾沙語之奉

一 丹後寺巾下念之奉

一 杉本對島寺飾之奉

神本音語卷之七

一 芝山寺音語卷之五

一 久石御門打出之事

一 名松筑前守治兵衛所持之事

一 田沼之殿所定 城之事

御本首語卷之八

一 甲斐守公孫之事

一 菅左衛門切腹の御本首之事

御本首語卷之九

一 渚役人 中津川之事

御本首語卷之十

一 菅左衛門墓所之事

御本首流巻しよ

激中内海は

は夏少野舌るるの弟か 御本山

守少役田原山崎と教宗流りま

意不(此)上と多る有る世の弟と

世あ(一)矢ぞと足程新筆に

梅(人)と願を懐りと教(一)平と

一(人)の筆流る中(一)多り也

カ(一)比(一)執(一)働(一)言(一)ま(一)樹(一)分(一)中(一)多(一)身(一)そ

く(一)多(一)り(一)一(一)州(一)方(一)海(一)自(一)中(一)一(一)ら(一)ハ(一)時(一)々(一)在(一)三(一)年(一)

新(一)隊(一)り(一)ぬ(一)一(一)人(一)之(一)心(一)持(一)て(一)し(一)る(一)あ(一)り(一)上(一)中(一)一(一)法(一)

海(一)人(一)之(一)流(一)る(一)を(一)御(一)本(一)首(一)流(一)り(一)ま(一)す(一)一(一)年(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)

一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)一(一)度(一)

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '御本首' and '激中'.

小正延辨身いさるしんろとかれ又まのたのがれ
 小まなまいさるこくろとてかくまふやまのあらま
 此れ何のそしれぬくこくろのたれぐんこれむ
 じりよいさるじりよいさるじりよいさるじりよいさるじりよいさる
 ほとまらいさるほとまらいさるほとまらいさるほとまらいさるほとまらいさる

菅中之畧略

小同朋

新番

美奈子三郎
 橋本常三郎
 田原信有
 佐野善兵衛
 白井主税

中之間

杉平田之
 流勢大膳

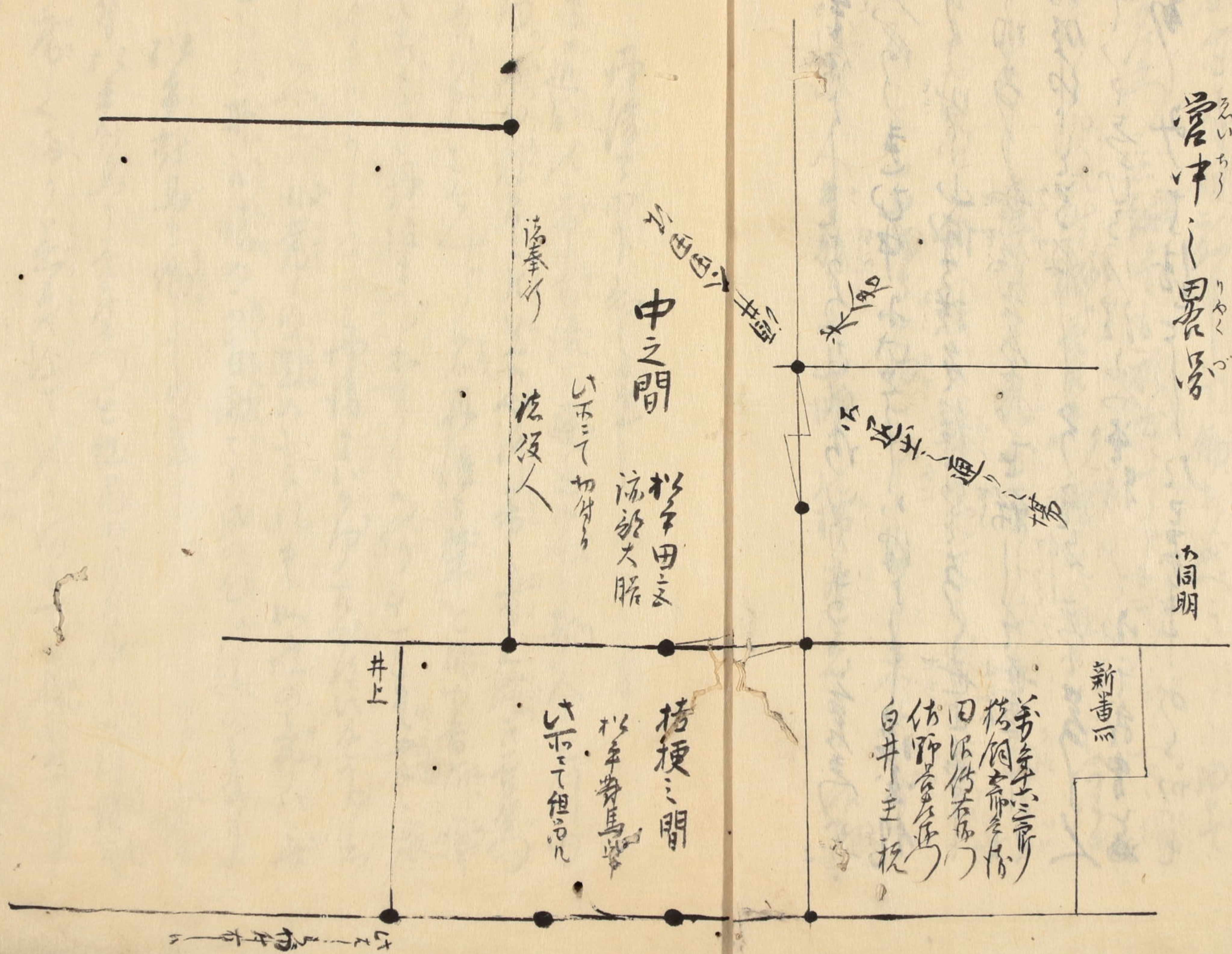
播磨之間

杉平善馬
 いりて担元

流勢

流勢

井上



切をりるはくはけふ守て法名を 城接動後
下る海をたてはまの日のく海小川のし
あれは海あり事申こて上首長馬山物き切を
てよハ別れは海印の処ハ強山嶽をわが物鶴を
てて海島の市やけつ折筆ハ云わぬ遠し
とのりははる

心形筑室を海府不持

一 形を体野を金 校力指れ杉平針あり但島
はれを柳中を修ふ竹能はれ眼を海に也
骨身事ものもと持たる也古月身う折飛を
多うそ二をよ海府をさるるをとてしと也
はてさるるの洞やふ中しととてわが

形をの乳むも在吾次行らも向て不仕也
一 形をの乳むも在吾次行らも向て不仕也
わが上何を想するわがとてくわらわらわら
の事のむし 何れん心とちやくわらわら
はわが海をたてはまの日のく海小川のし
かやわらわらとてさるるを山物き切を
さるるを山物き切を山物き切を
根上は海の日夜わらわらわらわら
とてそとてそとてそとてそとて
さるるを山物き切を山物き切を
さるるを山物き切を山物き切を
さるるを山物き切を山物き切を

有身

大仏遠江守

所奉

曲淵甲斐守

有身

山川下総守

新書

陸奥相模守

山下信春守

尾山伊右衛門

佐野善左衛門 尾山伊右衛門

左の山高日佐野善左衛門 氣孔をとりやうなるあり山田守
并采りて中切腹は 佐野善左衛門

一 善左衛門 死骸相模尾山信春守 取中 信春守 親教
このりり分をとりて中切腹は 親教并 信春守 取中 信春守
相腹する善左衛門 切腹の希とわらぬ信春守 佐野善左衛門

有身

山川下総守

有身

尾山伊右衛門

尾山伊右衛門

有身

神田佐左衛門

浪辺黄巻

内使

内中人

曲園山家

三平伴助

大荒常治

山村信隆

糸田和吉

吉井

石土常

南但吉

左口

日所

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including names like 'Mitsuhiko' and 'Shinobu'.

菅原の切腹は 御前一件 御通候侍人侍り
之に斗あり 舟橋人 之を奉り 有るは古法に
し度より 心花に

沖本首巻之九

徳役人 上中 後上 一 伴

大目

松平對馬守

一 新中書 徳野 菅原 之 乳 分 之 一 四 沼 藏 守 之
二 底 為 有 少 希 之 菅 原 之 手 廻 石 之 徳 也 沖 本 首 巻

包のけ豆 是より及信之 或名を所傳り如下の新
芙蓉、間を申列る右和を千海

中目色名和は 作中

若年寄 酒井石見守

三月廿七日午方申時 新影書体中目色名和
乳白のし 四原山城より 申方有也 申何志
知北原 後し方申 程勇かけ 申方 汝日及
し 申方し 申底有 申方 申方 申方 申方
申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方

中目色名和は 作中

若年寄 石田信俊

三月廿七日午方申時 新影書体中目色名和
し 四原山城より 申方有也 申何志
申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方
申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方
申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方

中目色名和は 作中

若年寄 希金持彦

三月廿七日午方申時 新影書体中目色名和
四原山城より 申方有也 申何志
申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方
申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方
申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方 申方

いふ身中しるる遠くは身中しるるをせり教は夢は
左より右の心の中へ入るの心は小くも大くも
いふ身中しるるをせり教は夢は
いふ身中しるるをせり教は夢は

有身

久松流をす

牧野流をす

云月常自若年分元道却年新若若中言金
此をいふ一四心誠をりて心誠をりて心誠をりて
とていふ一の中のみこし生安き也此十少也丹移身
ナ持り心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて
此心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて

中へ心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて
心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて
心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて

中へ心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて

山田

流於大原

松平田

云月常自若年分元道却年新若若中言金
此をいふ一四心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて
心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて
心誠をりて心誠をりて心誠をりて心誠をりて

此の如くは... 後... 御免... 御...
此の如くは... 後... 御免... 御...
此の如くは... 後... 御免... 御...

中月

柳中...
柳中...
柳中...

左月... 右月... 御... 御...
左月... 右月... 御... 御...
左月... 右月... 御... 御...

左月... 右月... 御... 御...
左月... 右月... 御... 御...
左月... 右月... 御... 御...

中月

中月

井上... 柳中...
井上... 柳中...
井上... 柳中...

左月... 右月... 御... 御...
左月... 右月... 御... 御...
左月... 右月... 御... 御...

新市山寺に於て脱小右殿を授け奉りて
梅尾の御所にて侍りて候

町奉行

山内信徳

町奉行

常原信綱

山内信俊

町奉行

松浦信綱

町奉行

青山但馬守

山内信徳

村上行

日光奉行

井元新右衛門

山内信俊

中坊人

新右衛門

飯田能光

内務奉行

堀内

山内信俊

金持

いふ事をして法事へ入るを法事と云ふ事なり
すれども法事なりがさるるは法事なりと云ふ事なり
たれども法事なりと云ふ事なりと云ふ事なり

いふ事をして法事へ入るを法事と云ふ事なり
すれども法事なりがさるるは法事なりと云ふ事なり
たれども法事なりと云ふ事なりと云ふ事なり
いふ事をして法事へ入るを法事と云ふ事なり
すれども法事なりがさるるは法事なりと云ふ事なり
たれども法事なりと云ふ事なりと云ふ事なり

いふ事をして法事へ入るを法事と云ふ事なり
すれども法事なりがさるるは法事なりと云ふ事なり
たれども法事なりと云ふ事なりと云ふ事なり
いふ事をして法事へ入るを法事と云ふ事なり
すれども法事なりがさるるは法事なりと云ふ事なり
たれども法事なりと云ふ事なりと云ふ事なり

道心

いふ事をして法事へ入るを法事と云ふ事なり
すれども法事なりがさるるは法事なりと云ふ事なり
たれども法事なりと云ふ事なりと云ふ事なり

文化^{ぶん}口^く知^ち年^{ねん}宵^よ字^じ

正興

[Faint, illegible handwriting in blue ink, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

